

テーブル2のメンテーマ

- 既開発されているサービスをオープンデータでさらによくする
 - 開発者視点
 - ユーザ視点

テーマ②もっと元気な街にしよう(地域振興)

ディスカッション#1 問題点(課題)の洗い出し

- テーマの絞り込み

- 街路照明灯
- 紫外線対策

- エアコンのデータを使った情報サービス

- 自治体の垣根(例:大阪府と大阪市)

※あえてみなさんが考えないようなテーマを取り上げてみる

- エアコンというテーマをキッカケに、課題の深堀り

- 課題案

- 雨に降られない、座るところがある、読書ができる、微かに風が吹いている、いい香りがする、etc...

- 「場の価値」や「場の快適さ」を解決する

- 「快適さ」ってなんでしょう? →具体的なデータ

テーマ②もっと元気な街にしよう(地域振興)

- 場の快適さを提供するもの、判断する情報
- 具体的にはどんな情報があればいいの？
 - (快適) 静か、いい香り、落ち着いた明かり
 - (不快) うるさい、くさい、まぶしい、混んでる、足元が冷える
 - 「苦情」という形で、快適さを阻害している情報はある程度把握できる
- そもそもスマホで快適・不快を報告する仕組みがあればいい
 - いいねの共有
 - このデータこそオープンデータにしたい

テーマ②もっと元気な街にしよう(地域振興)

ディスカッション#3 必要な情報の検討

- 行政のデータだけでいいの？
 - たとえば、自販機の売上がリアルタイムでわかれば、暑いとか寒いとか、快適さにつながるデータが得られる
 - 従業員の数や社屋の面積なんかがわかると、職場環境の快適さにつながる検討もできそう
- データの性格と利用者のニーズ
 - 公共のデータは、正確さが求められる(提供者責任)
 - ソーシャルデータは、曖昧でもいいけどリアルタイム性が高かったり、有用性は高い(利用者責任)

テーマ②もっと元気な街にしよう(地域振興)

ディスカッション#4 ルール制約の洗い出し

- そもそも、行政が持っているデータとは
 - 各種統計データ
 - 公共施設の情報
 - 基準や規制などに関する情報
 - 入札等に関係する情報は出さない(公平性)
- 行政が出すデータには責任が伴う
 - 利用者責任の論理や常識が浸透すれば・・・
 - 公開したデータがもとで訴訟問題になるのは避けたい
 - 「公表」(プレスリリースなど)と「公開」(情報公開請求に基づく)は違う
- データ公開の手間
 - 機械化できれば出す側も楽
 - 一度情報公開請求されて審査が通れば、そのあとはオープンデータと同じような扱いになる
 - 職員レベルでは出してもいいと思ってる
 - 上が決めてくれれば現場はやります